

ひゃくにちせき

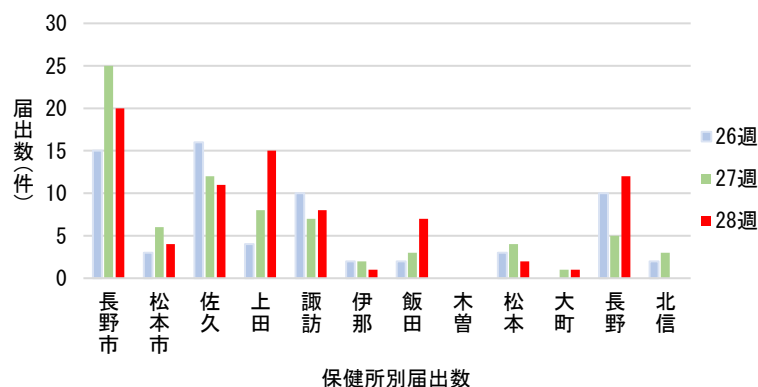
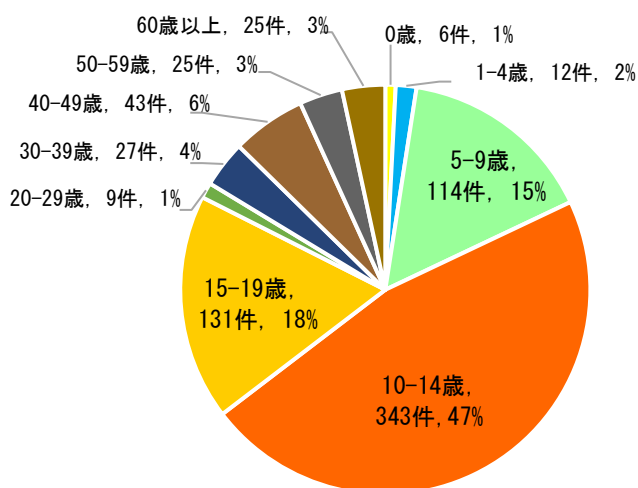
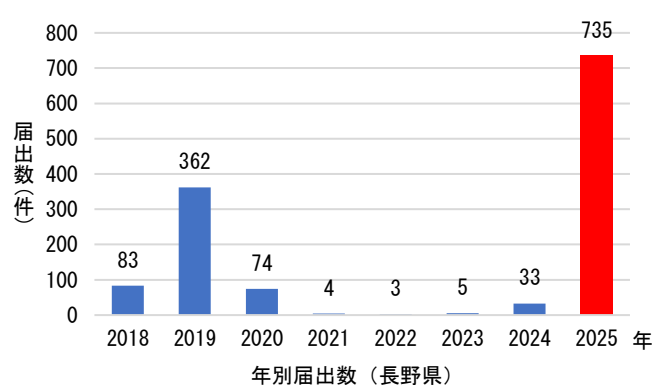
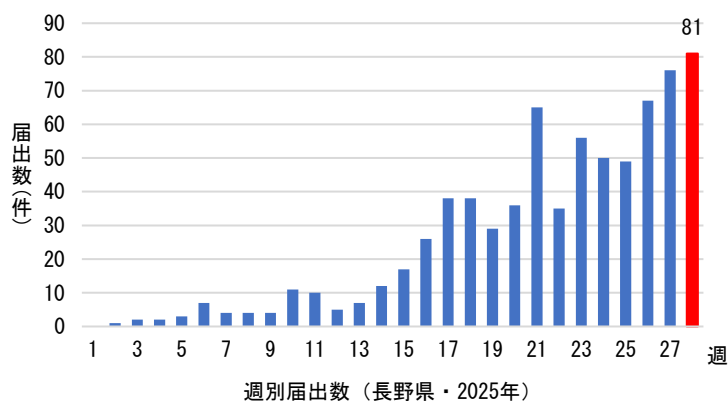
百日咳の流行が続いています！

2025 年（令和 7 年）7 月 16 日
長野県健康福祉部疾病・感染症対策課

- 2025 年の長野県内における百日咳届出数の累計は前回流行した 2019 年を大きく上回り、現在も届出数が増加傾向のため、引き続き感染に注意が必要です。
- 特に、生後 6 か月以下の乳児が感染すると重症化し、まれに死に至る可能性があるため注意が必要です。
家庭内での兄弟姉妹間での感染に注意してください。
- 百日咳の予防にはワクチン接種が有効です。お子さんが定期接種の対象となる生後 2 か月に達したら、速やかに予防接種を受けられるようご検討ください。

■ 県内の発生状況（2025 年第 28 週（7 月 7 日～7 月 13 日）現在）

- ・ 2025 年第 28 週の 1 週間での届出数は 81 件で、1 週間あたりの届出数で過去最多となりました。
- ・ 2025 年の長野県内の百日咳届出数の累計は 7 月 13 日現在で 735 件となり、前回流行した 2019 年の 362 件を大きく上回っています。
- ・ 年齢群別では 10～14 歳が届出全体の 47%を占めています。
- ・ 地域により流行に差がみられ、長野市、上田、長野及び佐久保健所で多い状態です。



■ 百日咳とは

- 百日咳菌の感染により、けいれんを伴う激しい咳を特徴とする気道感染症です。いずれの年齢でも感染しますが、小児が中心となっています。
- 生後 6 か月以下の乳児が感染すると重症化し、まれに死に至る可能性があるため、特に注意が必要です。
- 成人では咳は長期間続きますが、比較的軽い症状で経過することが多く、受診・診断が遅れることがあります。

■ 感染経路

- 飛沫感染（咳、くしゃみ）と接触感染（菌が付いた手で口や鼻に触れる）です。

■ 定期接種について（5 種混合ワクチンを用いる場合）

- 初回接種:生後 2～7 か月に至るまでの期間を標準的な接種期間として 20 日以上（標準的には 20～56 日まで）の間隔をおいて 3 回接種します。
- 追加接種:初回接種終了後 6 か月以上（標準的には 6～18 か月まで）の間隔をおいて 1 回接種します。

* * 感染予防のポイント * *

- ★ 5 種混合ワクチン等の予防接種が有効です。定期接種の対象となる生後 2 か月に達したら速やかな予防接種を検討しましょう。
- ★ 手洗いや咳エチケットなど、一般的な予防対策を心掛けましょう。
- ★ 重症化しやすい赤ちゃんを守るため、予防接種をしていない赤ちゃんのいる家庭は、家族みんなが感染しないように注意しましょう。
- ★ 学校や幼稚園、保育園で感染が拡大すると、家庭へ持ち込まれ、感染が広がる可能性があります。咳症状が続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

〔参考〕

厚生労働省「百日咳」 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/whooping_cough.html

長野県感染症情報 <https://www.pref.nagano.lg.jp/shippei-kansen/kenko/kenko/kansensho/joho/index.html>